

メールニュース

No.22-57
2022年10月21日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央
新宿宣伝

平和と暮らしが危ない 岸田政権の大軍拡に反対 辺野古新基地工事は中止を

安保破棄中央実行委員会と東京実行委員会は21日、東京・新宿駅西口で、岸田政権の大軍拡や辺野古新基地に反対する宣伝・署名行動を行ないました。

行動には7団体と事務局から10人が参加。ハンドマイクによる宣伝と、辺野古新基地反対、オスプレイ配備撤回、日米地位協定抜本改定の署名行動を行ないました。

安保中央の東森英男事務局長は、対米誓約に基づいて5年以内の軍事費2倍化や「敵基地攻撃力」強化を進める岸田政権を批判し、日本を戦場とする危険や、暮らし・福祉を犠牲にする問題を訴え、中止を求めました。また、9月の沖縄県知事選挙で示された民意に従って辺野古新基地工事を中止するよう求めました。

婦人民主クラブの山田会長、全日本民医連の木下事務局次長、全労連の衛藤常任幹事、食品一般ユニオンの北川書記次



安保中央の宣伝、新宿駅西口

長、新婦人中央の牧常任委員、平和委員会の岩月事務局次長、安保東京の岸本事務局次長がそれぞれマイクを持ち訴えました。各弁士は、軍拡推進、統一協会との癒着、物価高騰に無策の岸田政権を批判し、軍拡をやめて憲法にもとづく外交で平和を築くこと、辺野古新基地中止などを訴えました。

話を聞いた通行人が署名に応じ、31筆が集約され、カンパ2070円が集まりました。



10月6日、在日米海軍司令官と会談する上地横須賀市長（左）

米海軍厚木基地では9月24日に有機フッ素化合物を含む泡消火剤が放出され、綾瀬市の蓼川に流出しました。6日には、防衛・外務・環境の3県と県、綾瀬・大和両市が神奈川県内初の厚木基地内への立ち入り調査を行いました。在日米軍基地からの有機フッ素化合物の流出は、神奈川県だけでなく沖縄はじめ全国各地で問題になっています。日米地位協定で基地への調査を阻まれることは、許せません。

10月6日、在日米海軍司令官は上地克明横須賀市長との会談で、横須賀基地から海への排水で8月に行った有機フッ素化合物(FAS)の調査の結果、暫定目標値の2.22倍が検出されたことを明らかにし、謝罪しました。海への排水は現実的に不可能」と述べ、不誠実な対応で許せません。基地内への立ち入り調査については、立ち入り調査について、立ち入り調査について日米両政府で協力して実現できるように努力したい」と述べるにとどめました。

在日米海軍司令官が謝罪 有害物質を流し続ける米軍 厚木基地に初の立ち入り調査

日本平和大会プレ企画 全国 学習と交流のつどい 危険なオスプレイは配備撤回 ユーチューブ配信で視聴を

11月1日(火)午後4時～5時30分 オンライン ステーション・全労連会議室で「全国 学習と交流のつどい」を開きます。安保破棄中央実行委員会のHPとユーチューブ配信で視聴できます。

内容 ○報告 オスプレイの問題点と最近の動向(仮題)菅沼幹夫(神奈川県平和委員会) ○国会議員あいさつ ○全国の状況と運動の交流 ○行動提起 問い合わせは安保中央へ。

安保破棄中央実行委員会の11月度常任幹事会(オンライン兼)

11月9日(水)午後3時～平和と労働センター(全労連会館)8F民医連会議室